

都市マスタープラン策定に向けた検討状況について

- 1 新宿区都市マスタープランの策定について
- 2 策定の方向性（事務局案）について
- 3 策定スケジュール（予定）

1 新宿区都市マスタープランの策定について

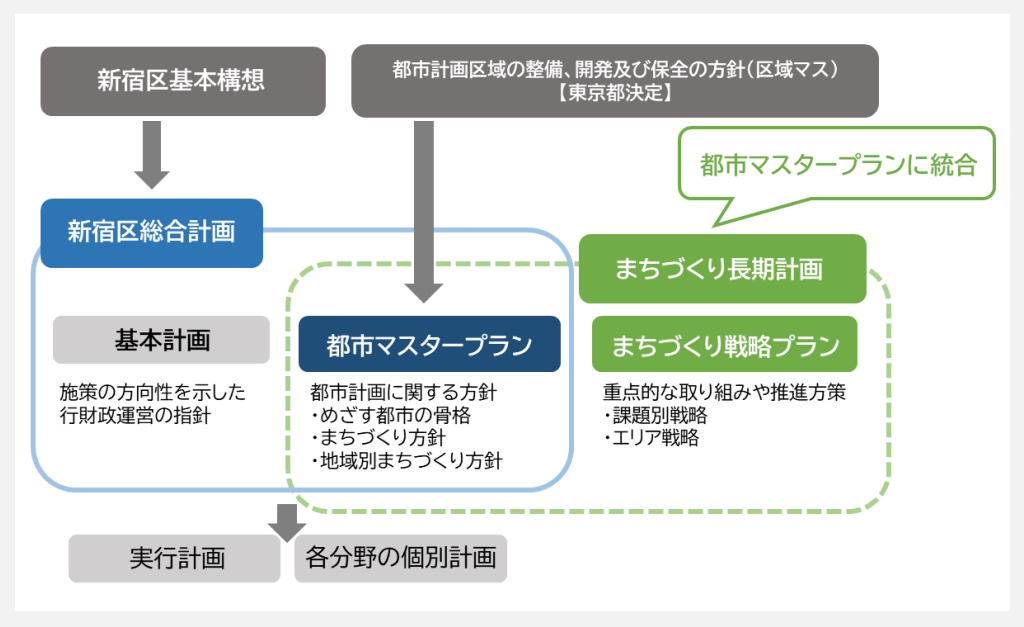
(1) 新宿区都市マスタープランの策定について

- 新宿区では、都市計画法第18条の2に基づく都市計画に関する基本的な方針として、平成19（2007）年に「新宿区都市マスタープラン」を策定しました。
- その後、社会経済情勢の変化等を踏まえ、平成29年（2017）12月に「都市マスタープラン」を見直すとともに、都市マスタープランの実現に向けた計画として新たに「まちづくり戦略プラン」を加え、両者を合わせて「新宿区まちづくり長期計画」として策定しました。
- 平成29年に策定した現行の「まちづくり長期計画」の計画期間は令和9年度までであり、「新宿区基本計画」と「都市マスタープラン」を一体的に定めた「新宿区総合計画」の期間も令和9年度までとなっています。
- このため、令和9年度の新たな「都市マスタープラン」の策定に向けて検討をしていきます。策定にあたっては、現在基本構想審議会では検討が進められている新たな「新宿区基本構想」を踏まえることとします。

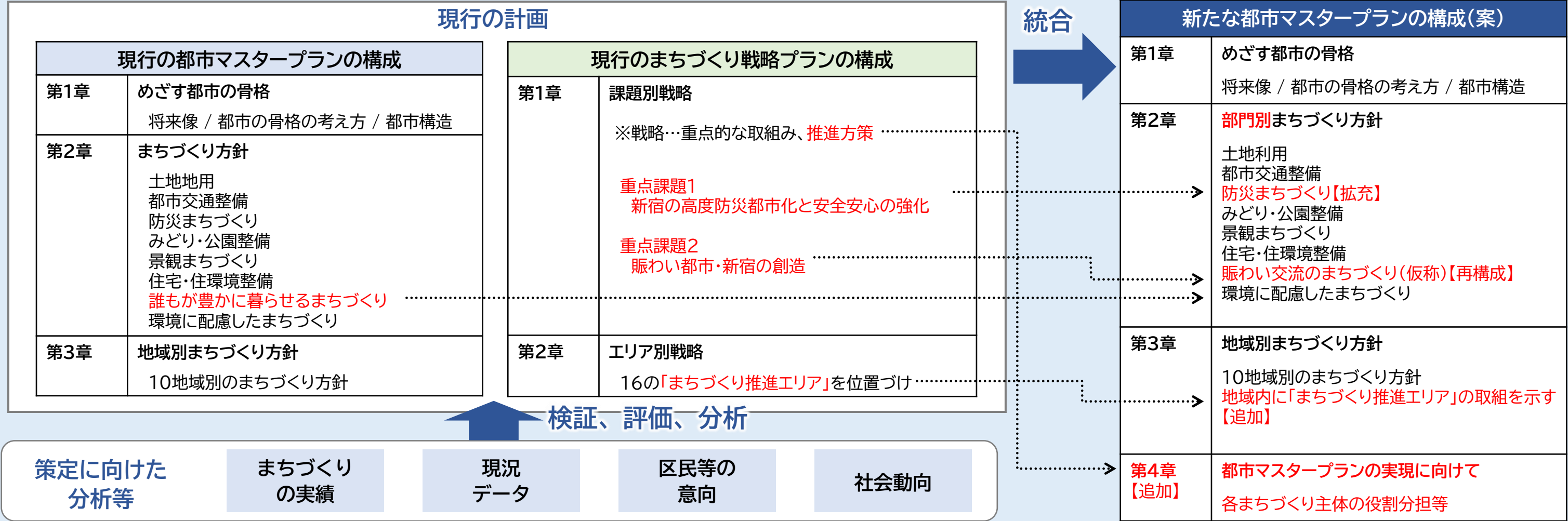
(2) 策定の考え方

- 策定にあたっては、まちづくりの取組実績を踏まえるとともに、現況データ、区民等の意向、社会動向などを踏まえて現行計画の検証・評価・分析を行い、社会状況の変化や新たな行政需要に的確に対応しながら方向性を検討していきます。
- 「まちづくり戦略プラン」を「都市マスタープラン」に取り込み、より区民にとって分かりやすく、区民等と行政、それぞれが果たすべき役割が見える計画としていきます。

<都市マスタープランの位置づけ>



<まちづくり長期計画の統合について>



2 策定の方向性（事務局案）について

- ・まちづくりの取組実績や基礎調査データ、区民等の意向、社会動向などを踏まえ、都市マスタープラン策定の方向性の案について検討しました。

<各種資料に関する分析考察結果 概要>

1 まちづくりの取組実績

資料2-3

都市の骨格づくりが着実に進展

- ・新宿グランドターミナルの再編、七つの都市の森の充実、防災性の向上など

継続的な取組の必要性

- ・都市マスタープランを踏まえた個別計画等により、計画的な整備や中長期的な取組が引き続き進む

2 基礎調査データ

資料2-4

人口動態の変動、外国人住民・観光客の増加

- ・人口は2040年頃まで増加、その後緩やかな人口減少と高齢者人口の増加見込み
- ・外国人人口、外国人比率の増加
- ・インバウンド来訪者、宿泊業数の増加

3 アンケートデータ

資料2-5

（居住者・事業者アンケート、町会等意見等）

災害・復興の重要性や地域の安全性に関する課題

- ・災害への安全性や発災後の迅速な復興を重要視
- ・公共交通機関や生活の利便性への満足度、重要度が高い
- ・地域の安全性や住民マナーの低下、地域コミュニティの希薄化に課題

4 社会動向（未来年表）

資料2-6

AIなどの技術革新の進展、気候変動への意識の高まり

- ・技術革新（AI、モビリティ等）
- ・環境対策の進展、気候変動

<策定の方向性>

策定の方向性（事務局案）

（1）将来の都市像、めざす都市の骨格

- ・現在、基本構想審議会において新たな「新宿区基本構想」で定める「めざすまちの姿」について検討を行っています。
- ・暮らしと賑わいが調和した新宿の特性や地域の個性を活かしたまちづくりは、継続的に進めていく必要があります。

➡将来の都市像、めざす都市の骨格は、現行計画を継承しながら、基本構想の検討状況等を踏まえ更新します。

（2）将来の都市構造

- ・新宿区では、都市マスタープランで定めた「心」「軸」「環」における拠点や基盤の整備、みどりの充実に関する取組を継続的に進めており、着実な「将来の都市構造」の実現を目指しています。
- ・計画期間中の急激な人口減少や鉄道路線の延伸などの、都市構造の構成に大きく影響する変化は予定されていません。

➡将来の都市構造は、現行計画を継承しながら、まちづくりの進捗等を踏まえ更新します。

（3）検討に向けて重視していく視点（案）

※次ページに詳細案を記載

- ① 各種分析（資料1～4）を踏まえ、20年後の新宿を見据えた上で着目すべき事項を整理しました。

防災・気候変動

社会動向・技術革新

多様性の発展

地域コミュニティ

- ② ①を踏まえ、今後の新宿のまちづくりに必要な4つの視点を整理しました。
この視点に基づいて、各種施策について検討を進めていきます。

I

安全で強靱な
まちをつくる

II

変化に
対応できる
まちをつくる

III

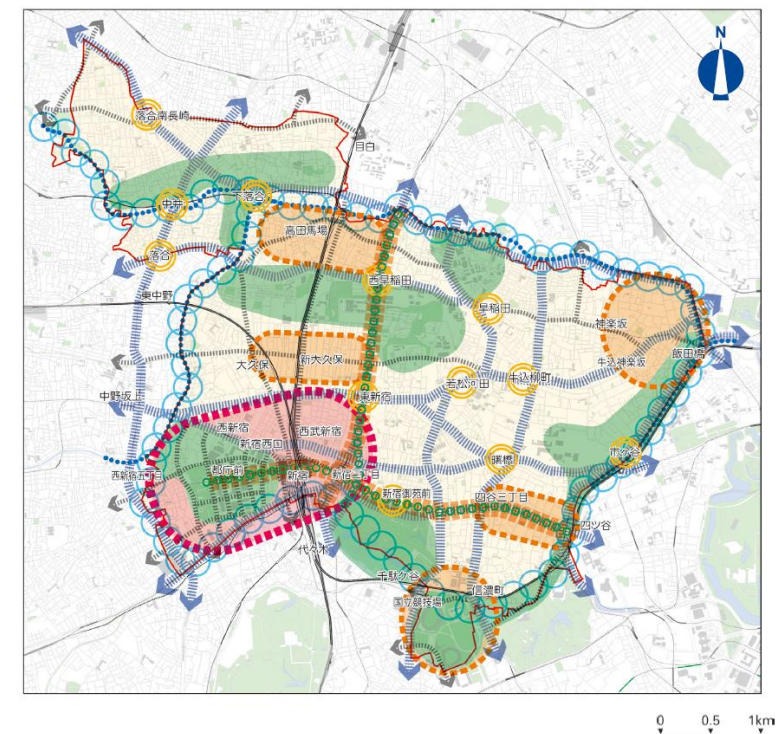
国際的な魅力と
暮らしの質を
ともに高める
まちをつくる

IV

地域の個性を
活かした
まちをつくる

<将来の都市像（現行都市マスタープラン）>
《暮らしと賑わいの交流創造都市》

<都市構造図（現行都市マスタープラン）>



2 策定の方向性（事務局案）について

（４）新たな都市マスタープラン検討に向けて重視していく視点（案）

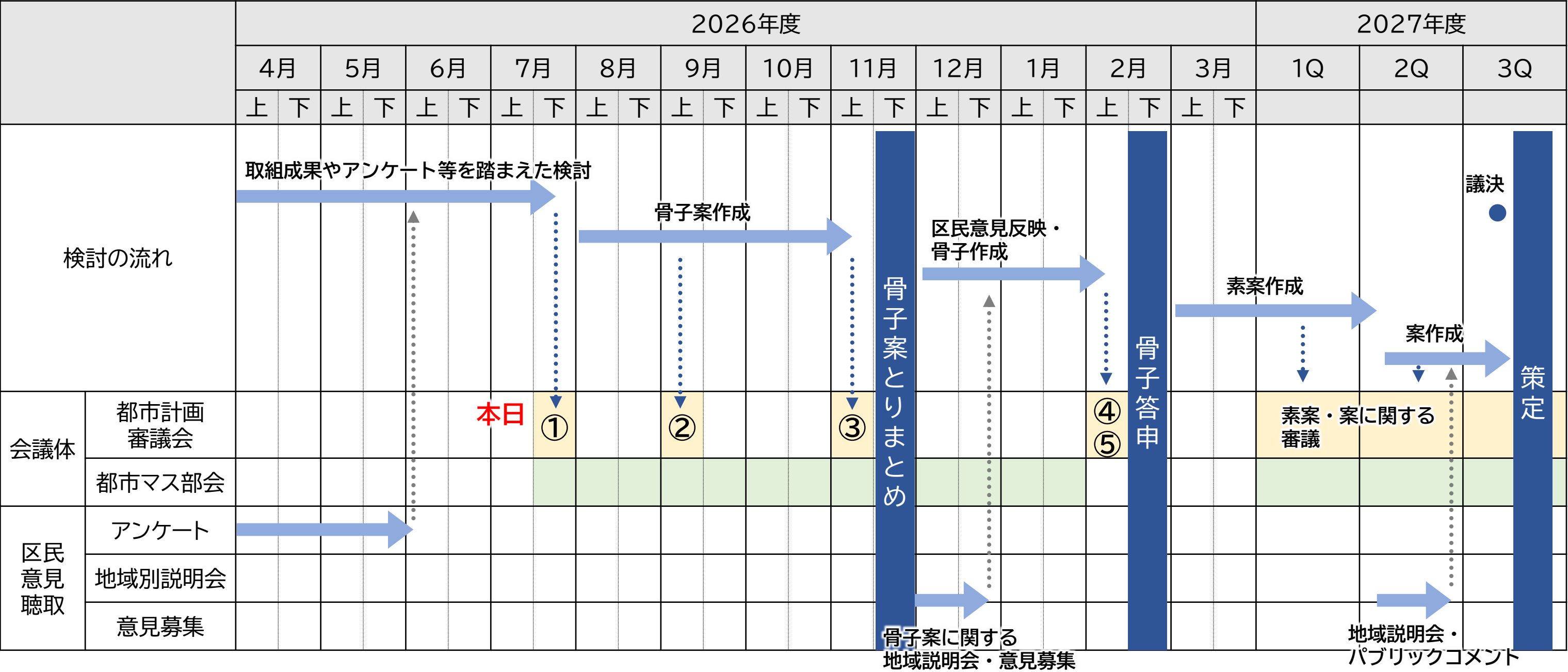
① 区民の意向やまちづくりの取組実績、現況分析、社会動向などを踏まえ、20年後の新宿を見据えた上で着目すべき事項

A. 防災・気候変動 複合リスクへの確実な備え ・首都直下地震のリスクが高まっています。 ・気候変動の影響による風水害の甚大化等が進行しています。 ・災害発生後の速やかな復興への意識が高まっています。	B. 社会動向・技術革新 社会動向を見据えた都市更新 ・計画期間中は人口の増加、維持傾向が予測されていますが、中長期的な人口減少や高齢化の進行が想定されます。 ・都市インフラの老朽化が想定されます。 ・ITを中心に急速な技術革新が進行しています。	C. 多様性の発展 暮らしと賑わいの共存 ・住民人口と外国人観光客の両方について、増加傾向が続くと予想されます。 ・世界一のターミナルを中心に国際的な都市としての役割が期待される一方、来街者の増加に伴う生活環境への影響が懸念されています。	D. 地域コミュニティ 都市課題を下支えする地域の個性とコミュニティ ・新宿区は、商業・業務・文化・居住機能が集積する魅力ある都市としての強みを持っています。 ・新宿区では、地域コミュニティを重視し、地域ごとの多様な個性を活かした住民主体のまちづくりを進めています。
---	--	---	---

② 今後の新宿のまちづくりに必要な4つの視点（案） ※下記の視点に基づき、横断的にまちづくりの取組を検討していきます。

I 安全で強靱なまちをつくる ・迫りくる災害に備え、都市の防災力向上を進めるとともに、災害発生後の速やかな復興に向けた取組を進める必要があります。 ・持続可能な都市の実現に向けて、積極的な環境配慮の取組を進める必要があります。 取組を検討していく部門等（案） ・防災まちづくり ・環境に配慮したまちづくり など 視点に基づいた施策例 ・耐震化、不燃化等の着実な推進 ・事前復興まちづくりの検討 ・ゼロカーボンシティ実現に向けた取組	II 変化に対応できるまちをつくる ・老朽化が進む都市インフラの機能更新を戦略的に進めていく必要があります。 ・機能更新にあたっては、中長期的な人口動態や社会動向の変化に柔軟に対応し、技術革新を最大限活用していく視点が重要です。 取組を検討していく部門等（案） ・都市交通整備 ・みどり・公園整備 など 視点に基づいた施策例 ・新たな技術等を活用した効率的な道路の維持管理 ・利便性の高い地域公共交通の維持、確保 ・グリーンインフラの整備	III 国際的な魅力と暮らしの質をともに高めるまちをつくる ・外国人の住民、観光客が多い特性を踏まえ、住む人が安全に安心して住み続けられるまちをつくっていく必要があります。 ・世界一のターミナルを中心としたまちのポテンシャルを活かした魅力の向上と、住む人や働く人の心地よさの両輪を強みとして伸ばしていくことが重要です。 取組を検討していく部門等（案） ・土地利用 ・住宅・住環境整備 ・景観まちづくり ・賑わい交流のまちづくり など 視点に基づいた施策例 ・拠点整備による都市の競争力強化 ・安心して暮らせる、質の高い住宅市街地の整備	IV 地域の個性を活かしたまちをつくる ・防災や社会動向の変化、国際化といった都市課題への対応を下支えするためには、地域ごとの個性とコミュニティの力が重要です。 ・他の3つの視点（I～III）に関する実効性を高めるため、地域コミュニティを都市の基盤のひとつとして捉え、まちづくりに活かしていく必要があります。 取組を検討していく部門等（案） ・地域別のまちづくり ・まちづくりの実現方策 など 視点に基づいた施策例 ・地区特性に応じたまちづくりの検討 ・まちづくりにおける区民、事業者、行政の役割分担の整理
---	---	--	--

3 策定スケジュール（予定）



<令和8年度都市計画審議会 開催日程/主な次第（予定）>

第1回（本日） 2026年7月22日（水）	第2回 2026年9月頃	第3回 2026年11月頃	第4回 2027年2月頃	第5回 2027年2月頃
【諮問】 ・骨子について 【報告】 ・検討の方向性（全体方針）について	【報告】 ・部会の検討状況について	【審議】 ・骨子案について	【審議】 ・骨子について	【答申】 ・骨子について